

スキル高めて厚待遇転職

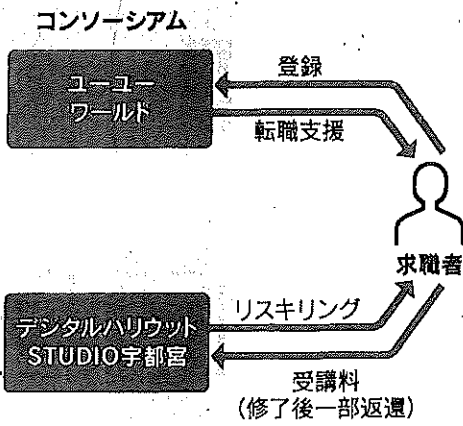
ユーユーワールド、求職者支援

物流や人材業のユーユーワールド(宇都宮市)は、求職者の能力を高めて年収の高い職場に転職させる新たな事業を始めた。連携するデジタルハリウッドSTUDIO宇都宮(同)で専門知識を習得し、動画による企業プロモーションなどにも対応できる事務人材を企業に紹介する。新たな取り組みを通じて人材紹介事業に力を入れ、派遣事業に続く人材事業の柱に育てる。

デジタルハリウッドSTUDIO宇都宮が提供するのは主にウェブデザインと動画作成に関する講座で、情報的的確に伝える設計や、動画の編集方法を教える。プロとして独立して仕事ができる

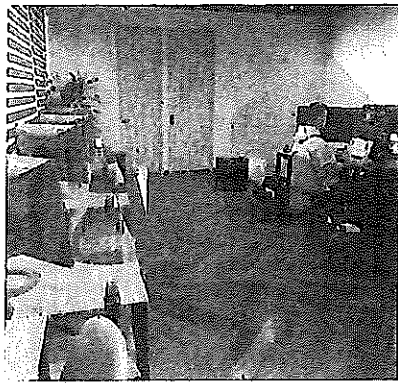
フリーランスを目指す人と同じ内容でプログラミングも学べ、修了後は市販の編集ソフトでは対応できない細かい設計にも対応できるように。身につけた知識は企業のホームページやPR動画

リスキングの仕組み



デジハリと連携 ウェブ・動画作成を指南

デジタルハリウッドSTUDIO宇都宮で学びフリーランスになる人も (15日、宇都宮市)



の作成に生かせる。期間や受講料は選択するコースによって異なり、4カ月から10カ月で、20万円台から60万円台の費用がかかる。両社は経済産業省の「リスキングを通じてキャリアアップ支援事業」に選ばれており、求職者は受講費用を一時的に負担するが、修了すると受講料の半額が戻る。転職後、1年以上就業が続けばさらに2割が返還されるため、最終的には3割の自己負担でリスキングできる。

中小企業にとってプロモーション専門の人材を正規雇用するのは、コストに見合わない面もある。ユーユーワールドの狙いは通常の事務職の人材がウェブデザインなどのスキルを身につけ、コンテンツ作成も担える人材として転職できるようにすることだ。

採用する企業にとって事務系人材の不足を補いつつプロモーション力を高められる。一方、ユーユーワールドはスキルが高い分、通常の事務職より給料を引き上げる交渉ができる。

ホームページにとどまらず動画投稿サイト「YouTube」やSNSの「Instagram」「TikTok」で企業が動画で製品や会社情報を発信する事例も増えているが、県内では積極的な企業はまだ少ない。ユーユーワールドの小川拓矢社長も「栃木県内の中小企業からプロモーション人材がほしいという声は少ない」と話す。需要が顕在化しているわけではないようだ。

デジタルハリウッドSTUDIO宇都宮の松平倫子さんは「現場勤務で、自ら仕事の魅力を発信したい」と動画作成を学んでいる受講生もいる」と話

す。ホームページを随時更新、改善したり、多くの人に見てもらえるようPR動画を高頻度で発信したりするには内製化が欠かせない。ネットを使った職場の情報発信は若い世代のリクルートにも役立つ。

国の補助を受けられるのはユーユーワールドの事業規模では23人まで。小川社長は「リスキングによる厚待遇の職場への転職支援モデルを確立し、今後は語学など他のスキルも視野に事業を拡大していく」という。

同社の人材ビジネスは売上高の9割が人材派遣で「製造業、物流業」「男性」の割合が大きく、派遣社員の高齢化による事業の先細りが課題だ。女性の比率が高い事務職の転職希望者にデジタル技術を身につけてもらうリスキングを核に、手薄だった人材紹介をこ入れして、2028年には人材ビジネスに占める人材紹介の割合を3割まで伸ばすことを目指している。

(桜井豪)